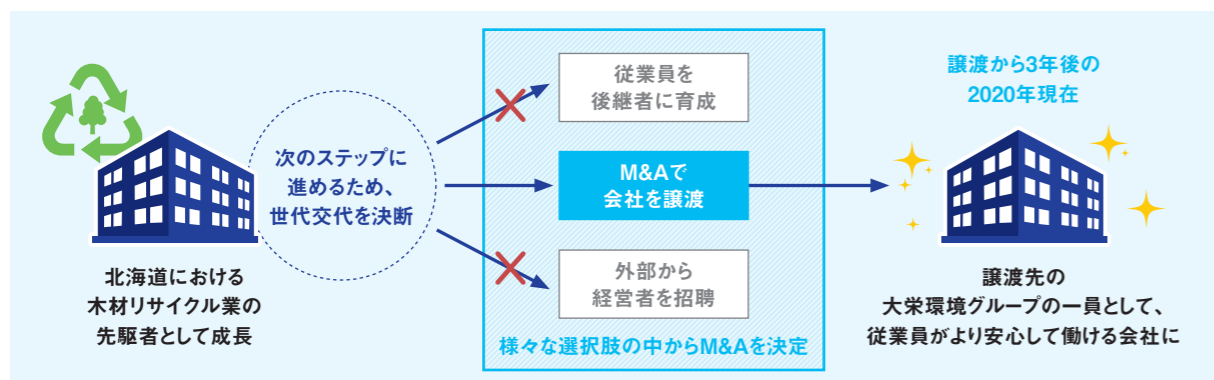


M&A事例のご紹介

三基開発株式会社 創業者 秋田 喜久 様

北海道でまだリサイクルの概念が乏しかった1983年に創業し、順調に事業を拡大してきた三基開発株式会社。創業者の秋田様は、2017年に「もう木材廃棄物のリサイクルではやるべきことはやり尽くした」という達成感とご自身の年齢を重ねられたという自覚から、会社を次のステップに進めるため、譲渡を決断。現在、三基開発は、業界トップリーダーの大栄環境グループの一員として新たな歩みを進めています。



会社概要 (2020年2月29日現在)

会社名 株式会社ストライク
 設立 1997年7月
 資本金 8億2,374万円
 拠点一覧 東京本社/札幌/仙台/名古屋/大阪/高松/福岡
 事業概要 国内の中堅・中小企業のM&A仲介業務

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的な視点で当社株式を保有していただくために株主優待制度を導入しております。

●対象となる株主様

毎年8月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上を保有する株主様

※中間期は株主優待を実施しておりません。

●株主優待の内容 クオカード 1,000円分を贈呈

ホームページのご案内

当社の企業概要、財務情報などに加え、M&Aについて理解を深めていただくコンテンツを掲載しております。

〈特徴〉

- どのページからも案件の検索とお問い合わせが可能
- 画面左のメニューから、目的のページにすぐ移動
- 特に人気の高いコンテンツにアクセスしやすい



<https://www.strike.co.jp/>

株主メモ

証券コード 6196
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
 事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
 基準日 8月31日
 剰余金の配当の基準日 8月31日、2月末日
 1単元の株式数 100株
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 および電話照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次所 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
 公告掲載方法 電子公告により行います。公告掲載URL: <https://www.strike.co.jp/> やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の状況 (2020年2月29日現在)

発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式総数 19,354,200株
 株主数 2,461名



BUSINESS REPORT Vol.8

2019.9.1 ▶ 2020.2.29

トップメッセージ

M&Aを通して日本企業の生産性向上に取り組みます。

中堅・中小企業を対象とするM&A市場は、引き続き売り手・買い手双方からの需要拡大が続いています。当社の2020年8月期第2四半期の売上高は、前年同四半期比60.0%増の35億8百万円、営業利益は同104.9%増の15億51百万円と6期連続の増収増益となりました。M&Aの成約組数は70組と計画(66組)を上回り、過去最高だった前年同四半期の記録(44組)を大幅に更新する勢いです。

成約報酬が1億円以上の大型案件は、この半年間ですでに8組に達し、前事業年度末の6組を大幅に更新し

ています。成約組数全体が大幅に増加していることに加えて成約案件が大型化していることがストライクの収益を押し上げています。

2020年3月以降も、当社の事業領域である中堅・中小企業のM&A市場は

拡大が続くとみております。団塊の世代の大量退職などを背景に、後継者不在問題を抱える企業は増加しており、M&Aはこの深刻な問題を解決する有力な手段だという認識がさらに深まっています。

事業承継関連に加えて、注目されるのが中堅・中小企業の生産性向上への動きに伴うM&Aの需要拡大です。中堅・中小企業は大企業と比べて経営体力が弱く、最新の設備を導入したり、十分な人員を確保したりすることが難しくなっています。

しかし、M&Aを中核とした事業戦略により企業規模が拡大すれば、必要な設備や人員を獲得して生産性を引き上げることができ、中小企業の経営体力が強化されます。従業員の給与引き上げ、生産性向上による価格競争力の強化、収益性向上による株主利益の向上が期待されます。強い企業が増えれば地域経済の発展にも貢献できます。ストライクはM&Aの仲介を通じて、日本企業の生産性向上という課題にも取り組んでいきます。

代表取締役社長 荒井 邦彦



ストライクのビジネス

譲渡先と買収先の企業提携を仲介し、双方の顧客満足を図る価値あるM&Aを創出

M&A仲介フロー



STRIKE REPORT 1

5月末に札幌オフィス移転予定

当社は、日本全国をフィールドとして事業を展開しており、地方における営業基盤の確立を進めています。札幌エリアでの更なる営業力強化と業務の効率化を目指し、5月末に札幌オフィスを移転する予定です。

STRIKE REPORT 2

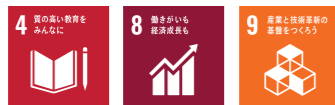
キャンパスベンチャーグランプリに協賛し、学生起業家を支援

学生起業家の祭典「第16回キャンパスベンチャーグランプリ東京」(りそな銀行・日刊工業新聞社共催)の最終審査発表会が11月28日、東京都内で行われ、大賞に藤沢昌司さん(慶應義塾大学)の「認知症予防・治療デバイスフレグランス君」が選ばれました。今回から当社も協賛させていただき、革新的なビジネスモデルのアイデアに対してお贈りする「ストライク賞」を、川端修平さん(東京大学)とお茶の水女子大学の方々に構成された「スーパークールメディアの創出・育成事業」チームに授与させていただきました。



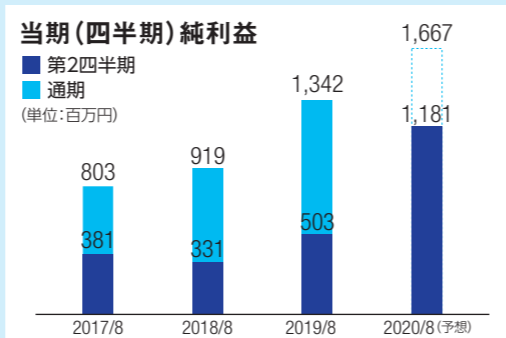
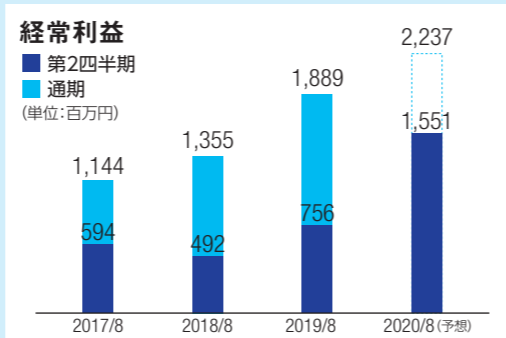
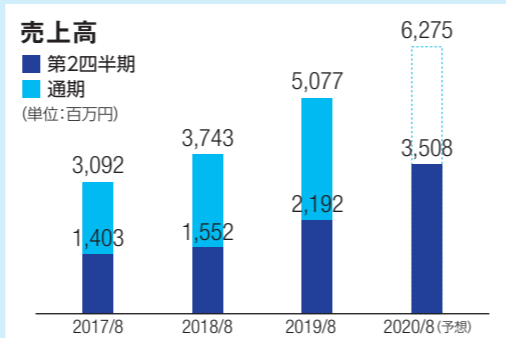
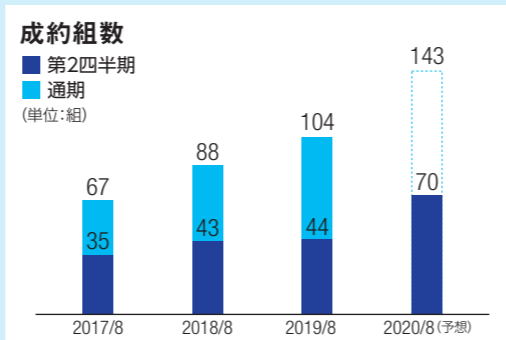
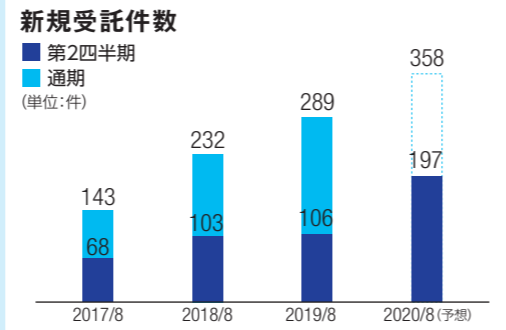
ストライクのSDGsへの取り組み

日本における後継者問題の解決や持続的な経済成長をM&Aを通して支援



当社は、主にM&Aの仲介事業を通して地域社会・地球の発展に貢献し、SDGs達成に向けて取り組んでおります。キャンパスベンチャーグランプリには、日本の持続的な経済成長に向けた人材育成の取り組みとして、当社も新たに協賛させていただきました。

業績ハイライト



第23回定時株主総会にて女性社外取締役が就任

2019年11月26日、大手町フィナンシャルシティ サウスタワー3階(東京都千代田区)にて第23回定時株主総会を開催しました。ご出席された株主様から当社事

業内容やガバナンスの取り組みについて、多くのご質問をいただき、活発な質疑が行われました。次回も多くの株主様のご出席を心よりお待ちしております。

新任社外取締役メッセージ

社外取締役 **小駒 望**

2006年12月
新日本監査法人
(現EY新日本有限責任監査法人)入所

2008年 4月
パレスキャピタル(株)入社

2010年11月
小駒望公認会計士事務所代表

2012年 8月
虎ノ門有限責任監査法人社員(現任)

2016年 6月
ユナイテッド(株)社外監査役(現任)

2018年 6月
(株)FIS社外監査役(現任)

2019年11月
当社社外取締役(現任)

Q ストライクの企業イメージや取締役会の印象を教えてください。

企業理念「M&Aは、人の想いでできている。」の通り、クライアント企業の経営者や従業員、株主の皆様をはじめ、自社内人材や各関係者等の事業活動に関わる全ての「人」を大切にしたい事業運営を行っている印象です。取締役会では活発に議論が交わされています。終了後には当社を取り巻く様々な事項についても意見が交わされることもあり、風通しのよさを実感しています。

Q これまでの経験を踏まえ、社外取締役として果たしていきたい役割・抱負をお聞かせください。

公認会計士としての会計、財務に関する知識・経験及び上場会社の社外役員としての経験を活かし、独立社外取締役としての立場から、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様利益を守り、企業価値の持続的な向上に貢献できるよう真摯に努めて参ります。

株主総会でいただいたご質問の一部をご紹介します。



事業承継型のM&Aのマーケットは現在どの段階にあるのか教えてください。



社外取締役の選任の方針を教えてください。

当社からのご回答

当社で成約しているM&Aで、事業承継型M&Aは6割を占めます。経営者の引退年齢は年々上がっています。また事業承継が終わった2代目もしくは3代目の経営者も世代交代を迎えています。事業承継のマーケットは今後も伸びると考えます。

当社からのご回答

社外取締役選任の際、年齢がなるべく若く、常勤取締役とは違う知見を言っていただけの方、また女性の方を積極的に起用していくことを方針とし、選任しております。